

腹腔鏡下腎部分切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後 1日目～2日目	手術後 2日目～退院まで
達成目標		<ul style="list-style-type: none"> 手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術を受けることができる 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後に必要な処置を受け入れることができる 管の違和感、吐き気や頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる 手術後の禁止事項(指示があるまで歩行できないこと、尿管は医師の指示があるまで抜去できないこと)などが守れる 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後必要な処置を受け入れることができる 手術後必要な処置を受け入れることができる 手術後必要な処置を受け入れることができる 手術後必要な処置を受け入れることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管を抜去後の尿の観察ができる。 疼痛、頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。 点滴除去後飲水が1000～1500ml/日以上摂取でき、食事が半分以上摂取できる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解でき、実施できる 	
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ		<ul style="list-style-type: none"> 入院の際、内容確認のために普段飲んでいる薬(医師から処方された薬)を一度預かります。続けて薬を飲む場合は、説明します。 手術前日の寝る前に、下剤の薬を飲みます 	<ul style="list-style-type: none"> 6時頃に、体温、血圧を測ります 処置室または病室で洗腸をします(便の量を確認しますのでトイレの水を流さずに、ナースコールを押してください) 肌着を脱いで手術衣を着用します。 弾性ストッキングを着用します 水分を補給するため、手術前に腕から点滴をします(朝一番の手術の場合、手術室で点滴します) コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください 医師、看護師と一緒に手術室に行きます 手術前の薬は、医師の指示に従いましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室からベッドで部屋に戻ります 医師の指示で、酸素マスク、心電図をつけます 痛み止めの管が背中に入っていますが、痛みがある時は痛み止めを使いますので、お知らせください 看護師が定期的に全身状態の観察を行います 食事が食べられるようになるまで点滴をします 足に深部静脈血栓症予防のフットポンプを装着します 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より診察時に経過についてお話します 傷の消毒を行います 医師の指示があるまでは、ベッド上ではフットポンプを装着します 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 点滴はそのまま行いますが、食事が摂取でき、発熱がなければ医師の指示で点滴を抜きます。点滴が抜ける時は、お知らせします。 食事が開始となれば、薬も始まります。ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 必要時、傷の消毒をします 処方された内服薬は、医師の指示通り内服して下さい
検査				<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 検査があれば、随時お知らせします。
活動・安静度		<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまでベッド上で過ごします。寝返りは可能ですが、ベッドを起こす事はできません。 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で歩行ができるようになります 手術後、最初に歩行する方は、看護師と一緒に歩きます。その後、気分不快などがなければ、一人で歩けます 尿管やドレーンが入っているときは、歩行時に引っ張らないように気を付けましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません
食事		<ul style="list-style-type: none"> 昼食は低残渣食となります。病院食以外は摂取しないようにしましょう。 夕食から欠食になります 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水、食事はできません。うがいはできます 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で飲水が始まります。その後、食事が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通食 
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 爪が伸びている場合は、切りましょう 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨きはできません(看護師がベッドにご用意します) 	<ul style="list-style-type: none"> 体を蒸しタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします) 	<ul style="list-style-type: none"> 体を蒸しタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします) 医師から許可が出たら、傷にカバーをして、シャワーに入れます。 お湯にはつかれません。
排泄				<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿を出すための管が入ります 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が入っています 便秘があれば、医師と相談し下剤の内服を開始します 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で、尿管を抜きます。 尿管を抜いた後、尿の観察をするために、尿コップにとってください。4時間経っても尿が出ない場合や血尿がある場合は看護師にお知らせください
患者様及びご家族への説明・栄養指導・薬指導		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します 主治医より本人・ご家族へ手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます 麻酔科の医師が麻酔について説明します。麻酔同意書に署名していただきます 手術室看護師が訪問をします 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室は3階です 手術は、()番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は病室か7階のデイルームでお待ちください 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい(鍵はご家族に預けてください) 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、医師から手術の説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医が退院後の注意事項についてご説明します。 病棟看護師よりパンフレットを用いて退院後の日常生活についてご説明します 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> 準備するもの(1字帯枚2～3枚、バスタオル1枚、腹帯2～3枚、長方形紙オムツ2～3枚、ストロー又は薬のみ) 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングをお渡しします 診断書のご希望がある場合は、外来棟の文書受付に申請して下さい(書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください) 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後、医師から手術の説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングを脱ぐ際には、看護師からお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は、看護師または事務員にお知らせください。 宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外は病棟に電話をおかけください

注：イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院